



▶貝だくさんの忍者なべを振る舞う

甲賀調理師会の調理師の皆さん15名が、児童自立支援施設「淡海学園」で忍者なべと黒影米ごはんを振る舞いました。この事業は、地域社会への奉仕を目的に同会が平成16年度から福祉施設を訪問し毎年実施しているものです。郷土料理を味わってもらおうと、根菜をはじめ20種類もの地域の食材を使った忍者なべや甲南町の特産品黒影米ごはん約80食分が準備され、できたての料理に生徒は、「温まり、とても美味しい。本当に嬉しく」と感謝しながら何杯もおかわりをしていました。

体験学習を楽しむ

まなびたいけんフェスタ2014inかふか

「まなびたいけんフェスタ2014inかふか」が3月2日、かふか生涯学習館で開催されました。同館では、生涯学習を目的に、さまざまな分野の団体、サークル活動が行われています。この日は、団体、サークルの皆さんにより、体験や展示コーナー、ステージ発表、試食・販売コーナーが設けられ、約500名が参加しました。体験コーナーでは、瓦の粘土を使って瓦風の陶芸作品づくりや絵手紙づくり、おもしろ科学遊びなどいろいろな体験が行われ、子どもも大人も夢中になって取り組みました。会場を訪れた人は、学び、体験を通じた皆さんの楽しみを味わうことができた一日となりました。



◀届ける人のことを思い絵と文字を描く絵手紙づくり体験

知識を深め めざせ『東海道マイスター』

第七回歴史の道 東海道検定



▶積み重ねた知識を試す受験者

東海道に関する知識を問う『歴史の道、東海道宿駅会議 東海道検定』が3月2日、東京から大阪までの7会場で開催され、市内でも自主活動センターきずなで7名の方が受験しました。この検定は、東海道の知識を深め、地域づくりなど社会的な取り組みに生かしてもらうとNPO 歴史の道東海道宿駅会議が毎年実施し、今回で七回を数えます。検定では、4択法や記述法で出題され、80点以上で合格。「東海道マイスター」の称号が与えられます。受験者は、「土山町に住んでおり、学んだことを生かして訪れた方にもてなしの心でお話したい」と話していました。

元気なまちかど

火災から身を守るために

聴覚障がい者対象の防災学習会



▶手話や図を交えて説明が行われた学習会

聴覚障がい者を対象とした防災学習会が2月12日、甲賀広域行政組合水口消防署で行われ、19名が参加しました。この学習会は、障がい者を支援する「生活支援センターあかつき」が、消防署に依頼し実施したものです。当日は、映像や手話で防火対策や避難方法などの説明を受けたほか、スモーク体験や消火器使用体験を行い、参加者は積極的に質問するなど真剣に取り組んでいました。署員は「入浴に燃え広がるまで、わずか5分。一番大事なのは無理せずに逃げること」と訴え、参加者は、「暗闇のスモーク体験では、聞こえないので不安を感じた。家に帰ったら点検をし、防火の準備をしたい」と話していました。

「目」として活躍する盲導犬 小学生が交流

盲導犬学習



◀盲導犬テラと触れ合う雲井小学校児童

盲導犬について理解を深める学習が2月20日、雲井小学校で盲導犬ユーザーの新海智恵美さんを招いて行われました。新海さんは、同小学校3年生16名を前に、これまで外出が困難だった経験から「今では行きたい時に行きたい場所へ出かけられ、楽しく生活を送っている」と、「私たちの目」として活躍する盲導犬との生活を話しました。また、盲導犬と接する時の注意点や目の不自由な方への手助けの方法などを説明し、児童は「困っている方に出会ったら進んで声を掛けていきたい」と話していました。また、盲導犬テラと触れ合ったり、新海さんを囲んで給食と一緒に食べたりして交流しました。

多彩な力作並ぶ

第9回甲賀市美術展覧会



▶個性豊かな力作が並ぶ会場

第9回甲賀市美術展覧会が、2月22日から3月2日まで、あいこが市民ホールと碧水ホールで開催されました。平面、工芸・立体、書、写真の4部門に応募があった279点が表示されました。日頃の創作活動の成果を発表する多彩な作品が並び、来場した人は個性豊かな力作を感じしながら鑑賞していました。各部門の甲賀市長賞受賞者は次の皆さんです。(敬称略)

甲賀市長賞
 平面/谷 杏奈 「飽き性」
 工芸/立体/望月 眞寸男 「未来」
 書/村尾 弘美 「茶歌山に満つ」
 写真/木村 実 「火花の乱舞」